

お知らせ

1 九州工業大学 BSD/OS サイトライセンスの使用について

1.1 BSD/OS とは

BSD/OS とは、4.3BSD (EWS で採用されていた UNIX の OS) を DOS/V パソコン上で動くようにした OS です。パソコン上で動く UNIX OS としては、その他にも FreeBSD, NetBSD, Linux などのフリーソフトウェアがあります。これらのフリーソフトウェアは、毎日の改良やデバッグが続けられているため、常に環境を整備できるユーザにとっては良いのですが、単に UNIX 環境をツールとして使うユーザには荷が重いようです。BSD/OS は、BSDI 社が OS の品質を保証していますので、他の UNIX OS に比べて動作が安定しており、また、ユーザサポートを受けることができるというメリットがあります。

このほど、九州工業大学では、情報科学センターが中心となって BSD/OS のサイトライセンスを取得しましたのでこれを公開します。以下、サイトライセンスを使用する方法について簡単に記述していますので、これを機会にぜひ UNIX の世界へ足を踏み入れてみてはいかかでしょうか？また、不明な点がありましたら以下までお問い合わせ下さい。

戸畑キャンパス	プログラム相談室 (内線 3476)
飯塚キャンパス	プログラム相談室 (内線 7558)
電子メール	bsdos@isci.kyutech.ac.jp

1.2 BSD/OS を使用するには

まず、BSDI 社が定めるライセンス条件を守っていただきます。これに加えて 1.2.1 および 1.2.2 の条件を付加します。これらの条件を守っていただけない場合は、情報科学センターは BSD/OS の使用を禁止することができます。

九州工業大学が取得したサイトライセンスでは、戸畑キャンパス内の職員および学生、飯塚キャンパス内の職員および学生がこの BSD/OS を使用することができます。また、自宅のパソコンやノートパソコンなどでの使用も可能となっています。ただし、卒業や退職などで九州工業大学の籍を失った場合は使用を中止しなければなりません。

1.2.1 使用形態

管理の都合上、情報科学センターが認める使用形態は次のいずれかとします。

§ 組織単位

組織単位での使用とは、学科、事務部もしくは他の共同利用施設といった組織内に所属する人々が自由にその組織の計算機で BSD/OS の使用が許されるものです。例えば、知能情報工学科に所属する計算機（共同利用施設や研究室も含まれる）で、知能の学生や職員が自由に使用したい場合は、この使用形態となります。

§ 研究室単位

研究室単位での使用とは、教授もしくは助教授の管理下にある研究室に所属している人々（学生、職員など）が自由に複数の計算機（研究室に所属している計算機に限ります。学科内の共同利用施設の計算機などの場合は組織単位での使用になります）でその使用が許されるものです。例えば、情報科学センターの竹生研究室でライセンスを取得した場合は、その研究室の学生、助手、技官などが、研究室内の計算機に対しても BSD/OS が使用できます。

§ 学生単位

学生単位とは、大学敷地内もしくは自宅に存在する個人所有の計算機に適用されます。ただし、学生単位の登録では、1つの登録で複数の計算機での使用は認められません。必ず、台数分の登録が必要となります。

§ その他（クラブ、団体など）

クラブが所有している計算機（個人のもものを除く）に対して、クラブに所属している学生が使用する場合に適用されます。

1.2.2 必要な書類

以下に BSD/OS の使用に必要な提出書類を示します。ただし、上記の使用形態に合わせて使用レポートの提出を求められることがあります。

〈必要な提出書類〉

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| ・ 組織単位 | ソフトウェア貸し出し申請書（組織用 1 通） |
| ・ 研究室単位 | ソフトウェア貸し出し申請書（研究室用 1 通） |
| ・ 学生単位 | ソフトウェア貸し出し申請書（個人用 1 通） |
| ・ その他（クラブ、団体など） | ソフトウェア貸し出し申請書（組織用 1 通） |

1.2.3 ソフトウェアの貸し出し

まず、必要な書類を提出します。その後、電子メールにて、取得したライセンス番号を下記のメールアドレスに送り、貸し出し希望の日付を明記します。

戸畑サイトライセンス受付 tbsd-rent@isci.kyutech.ac.jp

飯塚サイトライセンス受付 ibsd-rent@isci.kyutech.ac.jp

日付を調整の上、貸し出し日付を折り返しメールしますので、情報科学センターのプログラム相談室までメディアを取りに来て下さい。なお、ライセンス取得後、システムのクラッシュなどで、再度メディアの貸し出しを希望する場合は、書類の再提出は不要ですので、直接、上記メールアドレスに貸し出し希望のメールをお送りください。

1.3 BSDI 社の大学サイトライセンス

BERKELEY SOFTWARE DESIGN,INC.

大学サイトライセンス契約書（翻訳版）

1994年2月25日

これは、BSDI 社が用意したサイトライセンス契約書を翻訳したものです。この日本語で書かれた物はあくまで参考の為添付したものであり、英語で書かれたものが実際の契約書となりますので、ご注意ください。

同封の BERKELEY SOFTWARE DESIGN,INC（以下「BSDI」）のライセンスプログラムは、カリフォルニア大学評議員（以下「評議員」）から許諾されている BSD ネットワーキング・ソフトウェア第2版に基づく派生的な成果物です。これには、第三者が関係しているか、又は第三者が許諾したモジュールが含まれています。本ライセンスプログラムの著作権は、各々のモジュールに記されている著作権の記載によって示される通り、「BSDI」、 「評議員」及びその他の関係者により、その権利が主張されています。

1. ライセンス

1.1 本ライセンスの条件に基づいて、あなたの大学の現場におけるすべての職員及び学生には、次のことに対する個人的な非独占的ライセンスが与えられます。

- a. あなたの大学の現場にあるコンピュータ又は、大学、職員、学生の所有するコンピュータに対してのみ、本ライセンスプログラムを使用すること。
- b. 本ライセンスプログラムのソースコードを変更すること。あなたは自分で本ライセンスプログラムに対して行なったすべての改造についての権利を持つこととなりますが、その改造品に含まれる本来の著作権を尊重しなくてはなりません。「BSDI」によって使用許諾を受けたもの以外は、「BSDI」が著作権を所有するコードを再配布することはできません。
- c. 本ライセンスプログラムをコピーすること。本ライセンスプログラムのすべてのコピーは現場に保管するか、第三者が現場外においてバックアップ・コピーとして保管するか、又は、大学の職員又は学生が保有しなくてははいけません。すべてのコピーは「BSDI」の財産です。
- d. 同様に「BSDI」によりライセンスが許諾されている第三者に対する本ライセンスプログラム及び変更品の譲渡。
- e. 提供されるソースコードから作成したシステムのバイナリ・コピーを実行すること。ただし、これを再販売することはできません。

1.2 「評議員」以外の第三者が関係しているモジュールには、異なる許諾条件が課されることがあります。そのようなモジュールについては、まず定められている許諾条件を検討し、モジュールに対して適用される許諾権の範囲について理解する必要があります。

1.3 本ライセンスプログラムのすべてのコピー及び改造品には、あなたに許諾された品目に含まれているすべての使用権に関する注意事項を複写して含める必要があります。

1.4 あなたは、最初の製品リリースの前に受け取ったシステム（プリリリース版）は、リリースの前であり、公表されたものではないということに同意します。

1.5 あなたは、大学の敷地の外部で本ライセンスプログラムのコピーを行なう人は、大学のライセンスが終結するか、又はその人が大学の学生でなくなるか又は大学の職員でなくなる時には本ライセンスプログラムを返却するか、破壊するか、又はライセンスのアップグレードのために「BSDI」に連絡するということを含めた文書に署名する、ということに同意します。大学はこの文書をとじ込み整理して保管します。

1.6 あなたは、本ライセンスプログラムに基づいて提供されるすべてのサポートは、1 個所の連絡場所又はそれに代替される連絡場所を通じて行なわれることに同意します。

2. 保証及び権利回復権

2.1 「BSDI」は、本ライセンスプログラムのメディアが、材料及び作業技量について、通常的使用条件下で、受領証によって証拠づけられるあなたに配送された日から 90 日の期間について欠陥が生じないようにエンコードされていることを保証します。メディアに欠陥が生じる場合、「BSDI」の全責任及びあなたの排他的な権利回復権の範囲は、保証期間中における本ライセンスプログラムの交換、または購入価格の全額払い戻しに限定されるものとします。

2.2 「BSDI」は、本ライセンスプログラムが、合州国における第三者の著作権または特許を侵害していないことを保証します。本保証の範囲は、権利侵害が本ライセンスプログラムの誤用または改造、または本ライセンスプログラムについて許容されているライセンスの範囲を超える行為に基づくものである場合には適用されないものとします。

「BSDI」は、本契約書においてなされている保証を除くすべての明示される保証、並びに取り引き可能性及び（前期事項を制限することなく）特定の目的に対する適合性に関して黙示される保証を含むすべての黙示保証を明確に否認します。

2.3 あなたが本ライセンスプログラムについて満足できない場合、保証期間の 90 日以内に、全額の払い戻しを求めてこれを配給業者に返却することができます。ただし、あなたは提供されたオリジナルの品目

から作成したすべてのコピーと、作成コピーは存在しない旨を署名した声明書を添えて返却する必要があります。

3. 責任限定事項

「BSDI」は、本契約に基づくものであるか否かを問わず、「BSDI」がその損害の可能性について事前に通知した場合であっても、あらゆる種類の利益の損失、使用上の損失、業務の中断、間接的、特殊、偶発的または結果的な損害に対する責任を負わないものとします。

4. 料金及び支払

あなたが本ライセンスプログラムを使用し、本契約に基づくあなたの権利を行使する権利は、ライセンス料の支払によって有効となります。

5. 適用される法

本契約は、カリフォルニア州により、あたかもカリフォルニアの住民の間において統制されるかの如く統制されます。

6. 契約期間

本ライセンスの有効期間は、発行日から1年です。本ライセンスは、あなたが本契約の諸条件を遵守しない場合には自動的に終了します。あなたは、その終了時に、本ライセンスプログラム及びそれと共に引き渡されたすべての品目を返却するか、又はそれらをあなたの所有しているその他のバックアップ及びコピーと共に破棄することに同意します。

7. 法の遵守; 輸出

あなたは、「BSDI」が、輸出規制に関連するすべての適用される法律及び規定を含み、合州国管轄地または合州国の法または規定に違反する結果を招くことになる行為又は不作為を故意に為さないことを約束します。あなたは、本ライセンスプログラムをリビア、ハイチ、イラク、カンボジア、キューバ、北朝鮮、ベトナム、イラン、シリア又は南アフリカの警察又は軍の実体に対して、最初に適切な許諾をアメリカ商務省から取得し、且つ/又は合州国の輸出法により要求される通り、それらの国々に関する特定の輸出取引に関する事前の承諾を得ることなく輸出又は再輸出を行わないことに同意します。

8. 合州国政府の限定的権利

本ライセンスプログラムは、連邦調達規定（「FAR」）の第55.227-19条に定義されている「制限付コンピュータ・ソフトウェア」、及び国防省連邦調達規定捕捉（「DFARS」）のサブパートに定義されている「商用コンピュータ・ソフトウェア」に該当します。本ライセンスプログラムは、国防省（「DoD」）に供給される場合には、「商用コンピュータ・ソフトウェア」に分類され、政府は、「DFARS」の第252.227条に定義されている条件に従って、本ライセンスプログラム及びその文書についての「制限付権利」のみを取得します。本ライセンスプログラムが「DoD」以外の合州国政府の部門又は機関に供給され

る場合、本ライセンスプログラム及び文書に関する政府の権利は、第 55.227-7013 に定められている通りとなります。本ソフトウェア・ライセンス契約の諸条件と「FAR」又は「DFARS」との間に相反するところがある場合には、本契約書の諸条件が優先するものとします。

本ライセンスの条件に基づいて、あなたは前記の制限事項を、合州国政府又はその下位の部門とのすべてのライセンス契約、並びに合州国政府若しくはその下位の部門が最終的に使用するためにさらに本ライセンスプログラムのサブライセンスを許容する、その他の第三者とのすべてのサブライセンス契約に含めることを要求されます。

9. 総括契約

あなたは、本契約書を読み且つそれを理解しており、且つその諸条件に拘束されることを認めます。あなたはさらに、本契約は、本契約の主題に関連する口頭及び書面によるプロポーザル又は以前の文書契約、並びに当方とのその他の通信内容に優先する契約の、一体的且つ排他的な声明であることを認めます。

2 Be-net の廃止について

平成 6 年 8 月 31 日をもって Be-net を廃止します。Be-net は tty 端末からネットワーク経由で九州大学大型計算機センターの MSP をフルスクリーンで利用するためのものですが、MSP では既に平成 4 年から TCP/IP による telnet および ftp サービスを開始しており、本学のパソコン端末や X 端末などから (Be-net を介さず) 直接大型計算機センターの MSP を利用することができます。ネットワークの回線速度についても後者の方が 10 倍以上高速です。利用方法の詳細については、情報科学センター発行の

* 「利用の手引; 研究利用編」, p61 ~ p.99, 平成 5 年 9 月

を参考にしてください。

3 WWW の公開実験について

情報科学センターでは、平成 6 年 9 月より WWW(World Wide Web) の公開実験を行っています。現在、いくつかの学内の団体が公開実験に参加しており、広域ネットワークの新しい利用形態として、ますます広がっていくことが予想されます。

そこで、飯塚キャンパスのみで実施していたこの公開実験を戸畑キャンパスでも行うことになりました。具体的には、センターの教育システムから情報の提供を行うことが可能となり、戸畑キャンパスに在籍する職員及び学生で構成される団体によって、運営されることとなります。

WWW(World Wide Web)とは、電子ニュースや電子メールなどでは実現が難しかった画像、動画、音声などのマルチメディア情報とハイパーテキスト^aを組み合わせた情報をネットワークを通して見ることができるものです。有名なものとしては、国立ガンセンターから情報が提供されている気象衛星ひまわりの画像情報などがあり、国内外からいろいろな情報を入手することができます。九州地域のネットワーク(KARRN)でも活発な情報提供が行われています。

^a文字だけでなく写真や動画、音声などが関連づけられ各々のメディアの特徴を生かすことにより相乗効果を引き出したテキスト。階層的、多層的な情報構造を実現したことにより、任意の順序でテキストを読むことができる。

登録希望の方は、

www@isci.kyutech.ac.jp

まで、責任者及びメンバー一覧(氏名、学科、学生(職員)番号、センター教育システムのユーザ名)と団体名¹を送ってください。

3.1 WWW の情報を見るには

WWW の情報を教育システムから見るできるようになりました。ただし、現在のところ学外のWWWサーバにはアクセスできませんので御了承ください。使い方は教育システムの端末から **mosaic** コマンドを入力し、コマンドの引数としてWWWサーバのアドレス²を入力します。例えば、情報科学センター(戸畑)のWWWサーバにアクセスするには、次のように入力します。

```
mosaic http://www.isct.kyutech.ac.jp
```

引数のhttp(HyperText Transfer Protocol)はhtml(HyperText Markup Language)で書かれたテキストを解釈し、ネットワークを通じてクライアント側へテキストやイメージを送出して、リクエストに応えることを意味しています。

なお、学内には多くのWWWサーバが現在運営されており、これらのサーバから他のWWWサーバへは簡単に移動することができますので御利用ください³。

九州工業大学 代表	http://www.kyutech.ac.jp
情報科学センター 飯塚	http://www.isci.kyutech.ac.jp
情報科学センター 戸畑	http://www.isct.kyutech.ac.jp

¹Unixのグループ名として使用するので、英文字で8文字以内でつけて下さい。例：アニメーション研究会 Ani-ken

²正確にはURL(Uniform Resource Locators)と呼ばれる形式で記述します。このURLについてはUNIX USER 94年11月【新インターネット構築術】を参照してください。

³なお、WWWについてはUNIX MAGAZINE '94,2,3【インターネットの利用と仕組み】等をご参照下さい。

4 サテライト X 端末の設置について (飯塚キャンパス)

このほど情報工学部では、キャンパス情報化の一環として下記の場所にカラー X 端末⁴が設置されることになりましたので、どうぞご利用ください。なお、端末数が限られていますので、1人で長時間端末を占有することはご遠慮ください。

設置場所	端末数	利用時間
福利厚生棟 (ATM 装置横)	X 端末 7 台	21:00 まで
図書館ロビー	X 端末 7 台	図書館の閉館時間まで
事務棟前ロビー	X 端末 4 台	21:00 まで
講義棟 (旧 学生会室)	X 端末 5 台	18:00 まで

5 飯塚のターミナルサーバ回線について

情報科学センター飯塚のターミナルサーバ回線の一部をアナログ化し、高速モデムを利用できるようにしました。アナログ回線で 14400bps 級のモデムを使用することにより、従来 (2400bps) に比べて高速な通信ができます。なおデジタル内線から使用すると、最高 2400bps でしか接続しませんので、従来通りの番号 (7572) でご利用ください。

電話番号	0948-29-7579 (または飯塚内線 7579) (3 回線)
モデム	OKI PCLINK144FX
回線通信速度	最高 14400bps (V.32bis)
エラー訂正	V.42, MNP2 ~ 4, 10
データ圧縮	V.42bis, MNP5

なお、ターミナルサーバの使用法等は従来の回線 (29-7572) と同様です。

6 研究システム WS 追加のお知らせ

研究利用者の増加、計算量の増加に対応するため、平成 8 年 3 月までの期間において、情報科学センター研究用 EWS を次のように増強しました。なお、平成 8 年 4 月より、新研究用システムに変更されます。詳しくは、本広報の解説をご覧ください。

⁴これらの機器は情報工学部所属のものですが、運用管理については当面情報科学センターが行っていく予定です。

- 従来構成

[CPU サーバ (5 台)], [ファイルサーバ (1 台)]

機種	メモリ	SPECint92	SPECfp92	台数	マシン名
SPARCstation 2	48MB	21.8	22.8	3	nazuna,gogyoh,suzusiro
Super COMPstation 10/40(SS/10 互換機)	64MB	50.2	60.2	2	hotoke,suzuna
SPARCstation 2	32MB			1	

- 増強 WS 群 (7 台)

[CPU サーバ (6 台)], [ファイルサーバ (1 台)]

機種	メモリ	SPECint92	SPECfp92	台数	マシン名 [IP アドレス]
JS20/M61(SS/20 互換機)	128MB	88.9	102.8	6	res1 [150.69.5.21] res2 [150.69.5.22] res3 [150.69.5.23] res4 [150.69.5.24] res5 [150.69.5.25] res6 [150.69.5.26]
JS20/M61(SS/20 互換機)	128MB			1	

[利用可能言語等]

FORTRAN 90 コンパイルコマンド: /usr/lang/frt または, /usr/lang/f77

<<利用例>>

```
% /usr/lang/frt pai.f -lm
```

```
% /usr/lang/f77 pai.f -lm
```

以上の様に CPU サーバ 6 台が追加増強され, WS 1 台当たり 4~5 倍の性能アップとなります。どうぞご利用ください。

※ ライセンスの関係で, PASCAL, PHIGS, IMSL, Mathematica など一部利用できないものがあります。

7 演示用端末の利用について

情報科学センター飯塚では, AV 講義室で利用できる演示用端末を用意しました。この演示用端末は, プロジェクターに教官の画面を直接映し出すことができます。授業で使用される場合は, 情報科学センター 2F プログラム相談室で端末を貸し出します。

8 データのアップロード/ダウンロード用パソコンの変更について (飯塚)

ワークステーションとの間で、ftp によるファイル転送ができるパソコンとして PC-98 を設置していましたが、IBM PC 互換機に変更になりました。利用できるフロッピーディスクは、3.5inch 2DD, 2HD(1.44M, 1.2M) 及び 5inch 2HC, 2DD です。飯塚キャンパス 2F プログラム相談室で利用できます。お気軽にご利用ください。

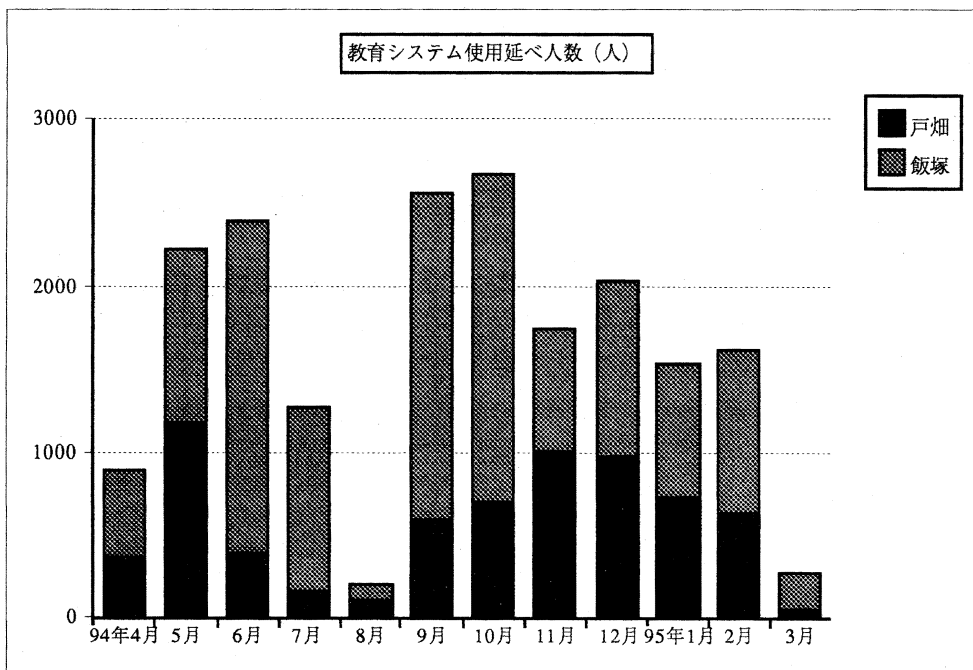
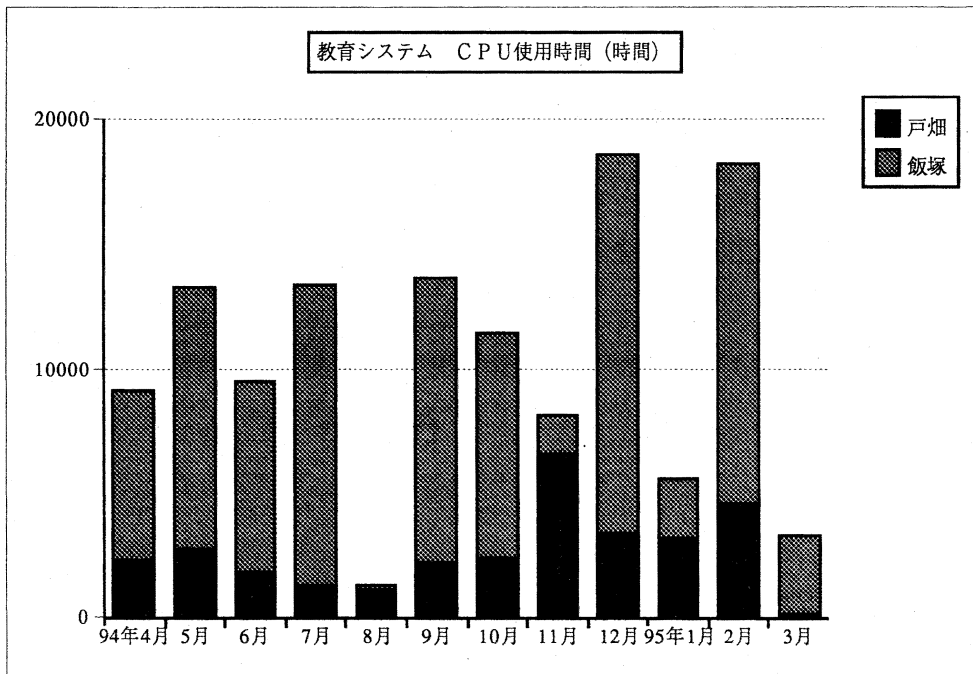
なお平成8年4月より、両キャンパスに IBM PC 互換機と Mac がデータ交換用として公開される予定です。

利用実績

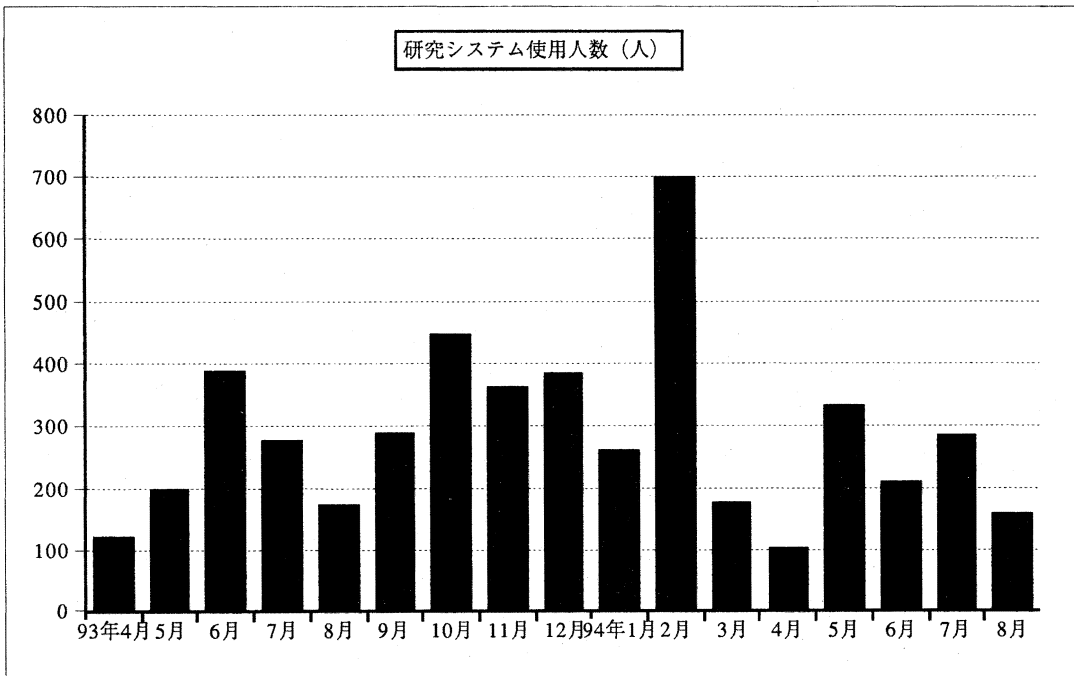
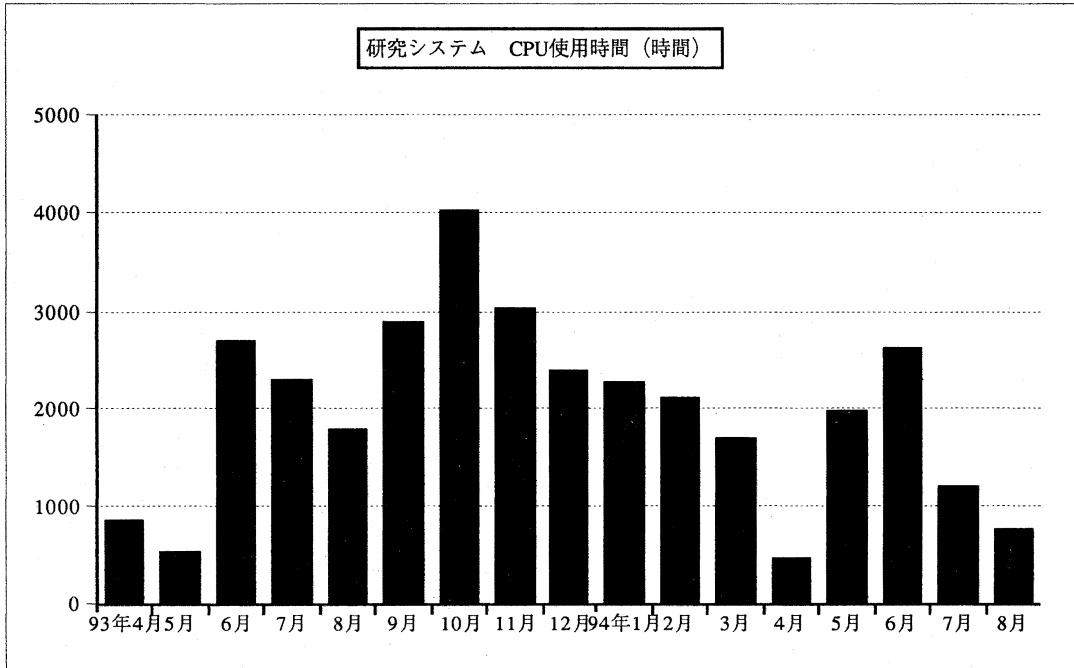
次の4つの実績報告を示す。

- 教育システム CPU 使用時間
- 教育システム利用者数 (X 端末の利用回数)
- 研究システム CPU 使用時間
- 研究システム利用者数 (X 端末の利用回数)

1 教育システム CPU 使用時間及び利用者延べ人数



2 研究システム CPU 使用時間及び利用者延べ人数



平成6年度 センター日誌

平成6年	4月	21日	ISC-NEWS No.55 発行
	5月	12日	ISC-NEWS No.56 発行
	5月	19日	第1回 運営委員会
	5月	20日	第1回 戸畑キャンパス運用委員会
	5月	27日	ISC-NEWS No.57 発行
	5月	9日	情報技術セミナー
	～	6月 17日	
	6月	27日	第2回 将来計画委員会
	7月	5日	ISC-NEWS No.58 発行
	7月	19日	ISC-NEWS No.59 発行
	7月	21日	高校生見学
	7月	22日	〃
	7月	25日	第1回 並列分散処理に関する研究会 (於: 情報工学部 200人講義室)
	8月	4日	ISC-NEWS No.60 発行
	8月	15日	センター閉館
	8月	30日	第2回 戸畑キャンパス運用委員会
	9月	7日	ISC-NEWS No.61 発行
	10月	4日	ISC-NEWS No.62 発行
	10月	24日	第3回 将来計画委員会
	10月	25日	第2回 運営委員会
	11月	2日	ISC-NEWS No.63 発行
	11月	19日	センター閉館
	～	11月 22日	
12月	5日	ISC-NEWS No.64 発行	
12月	8日	第4回 将来計画委員会	
12月	9日	第2回 並列分散処理に関する研究会 (於: 戸畑センターホセン A)	
12月	14日	ISC-NEWS No.65 発行	
12月	23日	センター閉館	
平成7年	～		1月 4日
	1月	14日	センター閉館 (戸畑)
	2月	2日	第3回 戸畑キャンパス運用委員会
	2月	2日	第1回 飯塚キャンパス運用委員会
	2月	27日	第3回 運営委員会
	3月	14日	第4回 運営委員会
	3月	22日	ISC-NEWS No.66 発行
	3月	25日	センター閉館
	～	4月 2日	

センター人事異動および職員配置

1 人事異動

平成6年4月から平成7年10月までのセンター人事異動を示す。

平成7年	2月	7日	事務補佐員	高木	麻里	改姓
	3月	31日	事務補佐員	本山	晴子	辞職
	4月	16日	技術補佐員	古野	潔美	新規採用
	5月	1日	事務補佐員	青木	文子	新規採用
	8月	31日	助教授	竹生	政資	転出(現在 佐賀医科大学)
	8月	31日	助手	藤木	健士	辞職

2 センター職員配置

平成7年10月現在のセンター職員の配置を示す。なお、その他にも学部生よりなる技術補佐員が配置されている。

センター長(併任)	教授	柏木 浩	飯塚 (飯塚 7550・戸畑 3471)
	助教授	山之上卓	戸畑 (飯塚 7552・戸畑 3472)
	助手	中村為雄	戸畑 (———・戸畑 3473)
	〃	中山 仁	飯塚 (飯塚 7552・戸畑 3476)
	〃	大西淑雅	飯塚 (飯塚 7552・戸畑 3476)
	事務官	永井徳仁	飯塚 (飯塚 7555・———)
	技官	井上純一	飯塚 (飯塚 7558・———)
	〃	富重秀樹	飯塚 (飯塚 7558・———)
	〃	戸田哲也	戸畑 (———・戸畑 3476)
	事務補佐員	青木文子	戸畑 (———・戸畑 3470)
	〃	高木麻里	飯塚 (飯塚 7518・———)
	技術補佐員	辻田尚子	飯塚 (飯塚 7555・———)
	〃	古野潔美	飯塚 (飯塚 7558・———)
	〃	中島孔志	飯塚 (飯塚 7558・———)